

創造力を世界へ

日本の



Japan
Creator
Support
Fund

Bringing Japan's
Creativity to the World

文化芸術活動基盤強化基金

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業

クリエイター支援基金について

Japan Creator Support Fund

令和5(2023)年度、独立行政法人日本芸術文化振興会にクリエイターの育成等のために行う事業を実施することを目的として「文化芸術活動基盤強化基金」(クリエイター支援基金)が設立されました。

事業の実施を通じて、国際的に活躍できるクリエイター等の育成を推進し、各分野の文化芸術の活性化や、国際的プレゼンスの向上につなげることを目指します。



クリエイター・アーティスト等 育成支援

3年・45億円

世界的に活躍が期待される日本の若手クリエイター・アーティスト・キュレーター等を対象に、作品展示や公演等の海外展開を見据えた共同制作、国際的な芸術祭への参画などの活動をサポートします。

企画・交渉・制作から発表まで一体的に行うプロジェクトを通してクリエイター等の挑戦、経験蓄積、海外関係者とのネットワーク形成等を後押しし、育成支援を行います。

多彩なジャンル

音楽、舞踊などの伝統的な舞台芸術から、マンガ、アニメーションといった現代のポップカルチャーまで、多くの分野が対象となっています。



グローバルな視座

世界の文化芸術の動向に通じたアドバイザーが、革新的な創造のためのネットワークとグローバル展開をサポートします。



長期的なサポート

海外市場の調査と開拓、現地パートナーとの関係構築には時間をかけた取り組みが必要となります。本事業では弾力的かつ継続的なバックアップを行います。



文化施設による高付加価値化 機能強化支援

3年・15億円

日本のクリエイターやアーティスト等の魅力を海外に伝えるため、国内の博物館や美術館、劇場・音楽堂など文化施設の機能強化をサポートします。作品のデジタルアーカイブ化、世界に向けた発信、地域資源の活用、海外での展覧会や公演の開催などを通して、日本のクリエイター等の活躍の場を広げるための支援を行い、彼らを長期的に支えていく活動拠点を育むことを目指します。

クリエイター数

クリエイター支援

計 **531** 人

文化施設

計 **111** 人

世界的なマーケットを形成しているマンガ、アニメ、ゲームから、メディアアート、映画、舞台等の幅広い分野で、約640人の若手クリエイター等が選抜され、活動を開始しています(令和7年5月現在)。

※現時点の数字のため、今後変動する可能性あり

アドバイザー(指導者)数

クリエイター支援

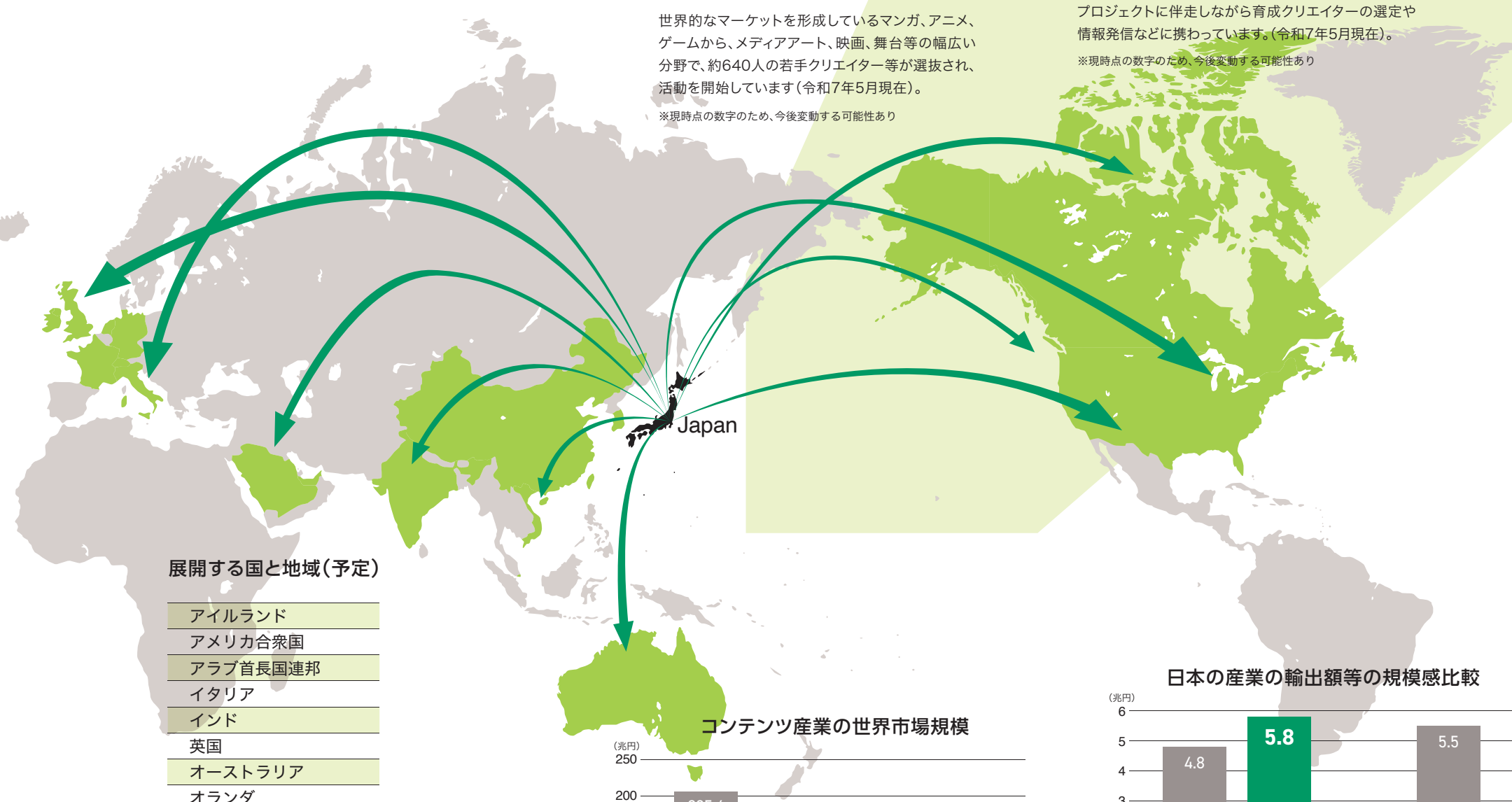
計 **284** 人

文化施設

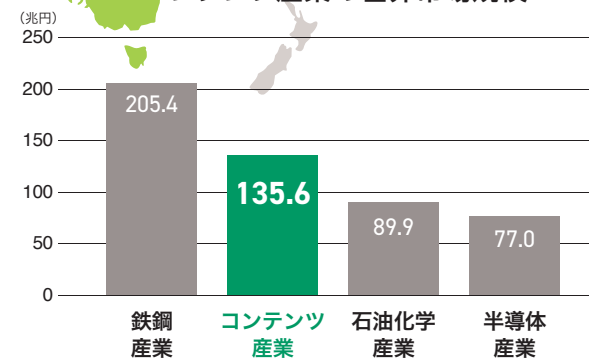
延べ **85** 人

約370人の専門的な知識や経験を持つアドバイザーが、プロジェクトに伴走しながら育成クリエイターの選定や情報発信などに携わっています。(令和7年5月現在)。

※現時点の数字のため、今後変動する可能性あり



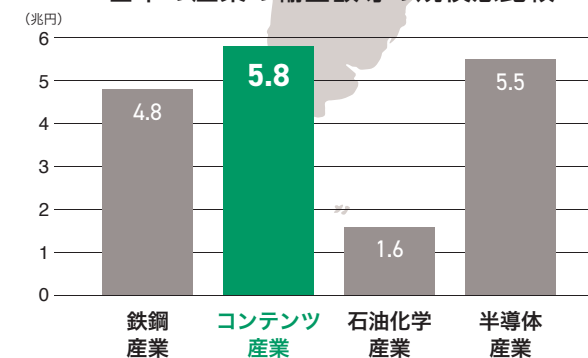
コンテンツ産業の世界市場規模



世界のコンテンツ市場の規模(135.6兆円)は、半導体産業(77.0兆円)、石油化学産業(89.9兆円)よりも大きなマーケットを形成しています。(2022年統計)

※経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 中間とりまとめ」(令和7年5月)より抜粋

日本の産業の輸出額等の規模感比較



日本由来のコンテンツの海外売り上げは5.8兆円あり、増加傾向にあります。半導体産業等の輸出額を超える規模であり、国の基幹産業として位置付けられるようになっています。(2023年統計)

※経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 中間とりまとめ」(令和7年5月)より抜粋

採択団体・プロジェクト一覧

FOR CREATORS



クリエイター・アーティスト等育成支援

クリエイターの活動を支える



マンガ、アニメ、ゲーム、メディアアート、映画、音楽、舞台…。先端的な表現から伝統芸能までの広範な分野が対象です。文化芸術の新たな可能性を切り拓き、国内外に向けて発信するこのプロジェクトに500人超の若手クリエイターが参加し、活動をはじめています。

FOR CREATORS



国際音楽祭での新作初演と新作オペラ"The Great Wave"の国際共同制作を通じた若手育成

株式会社KAJIMOTO

伝統ある国際音楽祭の一つ「ルツェルン音楽祭」に今後活躍が見込まれる若手音楽家を派遣し、スキルアップと海外での活動を広げる機会を創出します。また、その成果を日本で発表する公演を行います。さらにスコティッシュ・オペラと、葛飾北斎を描く新作オペラ"The Great Wave"の共同制作も実施します。これらの過程を通し、次代を担い、国際的に活躍する音楽家やスタッフの能力や知見獲得を目指します。



アーティストの好循環を創り出す
～大規模国際共同制作オペラを通じた輸出型プロモーションの試み～
公益財団法人東京二期会

一年間で少なくとも一つのオペラ作品を国内外で企画し、声楽家やスタッフを育成します。育成対象の声楽家には、世界的歌手との共演機会やワークショップ、個人稽古などを実施し、世界の舞台上で活躍するための音楽的な素地を整えます。また、育成対象のスタッフに関しても、オペラ公演へのコミットを通して必要なスキルを身に付けるサポートを行うとともに、世界のオペラシーンでの活躍をアシストします。



ニコニコ動画主催企画を介した若手クリエイター発掘
および海外進出プロジェクト

株式会社ドワンゴ

KADOKAWAおよび国内のエンターテインメント企業・海外の音楽マーケティング企業が連携し、ボーカロイドの楽曲に携わるクリエイターの育成を図ります。対象となるのは、ニコニコ動画主催企画で頭角を現しているクリエイターや、ドワンゴが外部企業と共同プロデュースしている作家たち。彼らの海外アニメフェスティバルなど世界的イベントへの出演が実現することを目標に、包括的なサポートを実施します。



欧州公演ツアーを通じた
オーケストラの次世代担い手育成プロジェクト
公益財団法人読売日本交響楽団

2024年秋、10年ぶりに行った欧州ツアーを通じて若手団員とスタッフ等を育成します。西洋音楽の本場で直接受ける評価を通じて当団の芸術水準と海外での認知度を高め、日本のオーケストラ界への海外の注目度も高めます。2年目以降はツアーに参加した若手を登壇させ、世界の一線で活躍するリーダーとの共演を通じ、芸術水準の向上を図ります。これら活動全般の様子は動画に記録し、英語で国内外に発信します。



FOR CREATORS



海外公演を通した国際的なダンサー育成プロジェクト

公益財団法人新国立劇場運営財団

バレエダンサーや広報スタッフなどを対象に、吉田都芸術監督をはじめ日英の指導者陣による育成プログラムを展開します。海外での広報活動や記録映像を使ったプロモーションを実施。2025年7月には新国立劇場初の海外自主公演となる英国ロイヤル・オペラ・ハウスでの吉田演出によるバレエ『ジゼル』の上演や、その前後に行う国内公演を通して、世界に比肩するダンサーとグローバル感覚を持ったスタッフを育成します。



世界に羽ばたく次世代クリエイターのための
Dance Base Yokohama国際ダンスプロジェクト“Wings”
一般財団法人セガサミー文化芸術財団

創作に集中できる環境を整え、メンターとの対話の機会を設けることで、国際的に発信力のあるダンス作品を丁寧に創作します。国内劇場での初演後、再創作や再演を重ねつて、舞台芸術見本市での紹介や劇場、芸術祭とのマッチングを推進。アーティスト、制作者、批評家が創作から発表までの全過程を体験し、海外公演の実現を目指します。本プロジェクトは、日本の優れた作品やダンサーの国際的な認知向上と、文化芸術の活性化に貢献します。



特設サイト <https://dancebase.yokohama/wings/>

次世代の国際スター創出および世界五大バレエ団達成プロジェクト

公益財団法人日本舞台芸術振興会

海外指導者の招聘や国内外での公演を通じて育成を強化するとともに、海外上演のノウハウ継承や継続的な海外視察によるコネクションの強化を進め、スタッフ・ダンサーの育成促進を図ります。2026年度には、若手アーティストを中心に、2023年にオールジャパンチームで制作した『かぐや姫』を海外で初演し、世界のバレエ界における日本のプレゼンス向上につなげます。



FOR CREATORS



KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭を
プラットフォームとした次代のクリエイター育成事業
一般社団法人KYOTO EXPERIMENT

世界で活躍する舞台芸術分野のキュレーター育成のため、以下に取り組みます。①ショーケース企画を通じた次代のディレクター育成 ②海外キュレーター招聘による国際ネットワーク拡充 ③プロデュース作品の海外上演を通じた舞台芸術家育成 ④国際的なプロデューサー、テクニカルディレクター育成 ⑤批評プロジェクトによる評論家育成 これらの活動はシナジー効果も念頭に実施。舞台芸術家の海外展開・協働につなげ、日本の文化芸術の国際的プレゼンス向上を目指します。



SOIL Fellowship Program
(Stage for Originality, Innovation, and Leadership)
一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク

日本の舞台芸術コンテンツにおける海外戦略の「新たな土壌」を構築することを目的とした事業です。①国際的な学びの機会を創出するラーニングプログラム ②海外の舞台芸術マーケットへ日本の舞台芸術作品を展開することを目指す派遣プログラム(エディンバラフェスティバル) ③デジタル空間での流通の促進 これらに取り組み、ノウハウの蓄積と業界への共有も行います。グローバルな視座を持つ次世代のプロデューサーを育成し新たな機会を生み出します。



世界を現場にする次代クリエイターの育成プロジェクト

株式会社サイ

2026年度までに育成対象者が5カ国の団体やクリエイターとの国際共同制作事業を展開するとともに、インドに滞在し制作を行います。各国での調査研究、セミナー、トークセッションを通して自身の背景にある日本の環境や歴史、国際社会の多様性を認識し、矜持やスキル、世界で対等に渡りあえる強い意志を持った、次代を担うクリエイターへと成長するよう、将来を見据えた企画制作を行います。



IN TRANSIT –異なる文化を横断する舞台芸術プロジェクト–

株式会社precog

①指導・研修・創作 ②ネットワーク ③国外活動 ④広報・営業・アーカイブの4つを軸として、国際展開に必要な知見、ネットワーク、活動資料・広報体制等の基盤構築のための育成プログラムを実施し、海外ツアーや国際共同制作実現に向け、知見を習得し国際性を養います。また国内外のメディアパートナーと連携して本事業のレポート記事や公演レビューを広く公開・発信、基礎知識のデータベース強化も目指します。

特設サイト <https://in-transit.org/>



世界のショービジネス界で飛躍するクリエイター育成プロジェクト

株式会社ホリプロ

演出家、作曲家、振付家、美術家、プロデューサーなど幅広い職種の若手クリエイターが、海外公演の実施を通じて海外基準の創作過程や交渉方法を学ぶことで、グローバルに活躍するクリエイターの育成と世界的な高い評価の獲得を目指します。また、海外の芸術団体との連携強化、ネットワーク形成を促進し、海外へ優れたコンテンツを輸出する基盤を形成します。



FOR CREATORS



歌舞伎の海外展開を目指したクリエイター育成

松竹株式会社

坂東玉三郎氏監督による海外でのワークショップや海外展開を見据えた国内での歌舞伎鑑賞教室など、国際的視点を含んだ事業を展開します。また、すでに海外公演の経験のある俳優・スタッフによる指導のもと、若手クリエイターによる歌舞伎のショーケースを実施します。ショーケース開催時には英語字幕付きの映像配信を行い、日本固有の文化財である歌舞伎が各国に根付くことを目指します。そして、国際的に活躍できる歌舞伎俳優やスタッフを育成し、海外展開を積極的に進めます。



日本音楽の魅力発信プロジェクト—和の文化活動を通じた若手育成—

特定非営利活動法人日本音楽国際交流会

日本の伝統音楽の魅力を国内外の幅広い地域に発信し、将来さらなる活躍が期待される若手演奏家に国際的な活動機会を提供します。これにより、伝統音楽の演奏技術の継承と発展を促します。また、さまざまな日本の伝統音楽に関わる事業を実施して、業界全体の活性化を図ります。国内外の関係者や提携団体の交流機会を醸成することで、本事業の持続的な発展を目指します。



世界で高い評価を得られる文楽・技芸員(アーティスト)育成プロジェクト

公益財団法人文楽協会

チャップリンの『街の灯』やマンガが作品など、他ジャンルとのコラボレーションによる文楽の新作を制作・上演します。また、上演機会が限られるが海外での文楽公演を積極的に行い、文楽の知名度を高めます。海外公演の成果の向上と、日本で初演する海外作品やマンガ原作の新作への関心の向上との両輪で、国際的に活躍する人材を育成するとともに、人々の文楽観劇へのモチベーションを盛り上げます。



FOR CREATORS



舞台芸術海外コーディネーター育成事業

公益社団法人全国公立文化施設協会

本事業は、国内で唯一の舞台芸術における国際プラットフォームである「横浜国際舞台芸術ミーティング」(通称YPAM)と連携して実施。公募と審査を経て選出された、舞台芸術の国際交流のこれからを担う制作者および舞台技術者10名が、海外の舞台芸術フェスティバルやプラットフォームに参加し、視察・交流・プレゼンテーションなどの研修を重ねることで、日本の優れた舞台芸術作品を継続的に海外に紹介する「海外コーディネーター」として育成されることを目的としています。



FOR CREATORS



(マンガ、ゲーム、メディアアート、アニメーション、映画)

グローバル・アニメ・チャレンジ(GAC)

株式会社キネマシトラス

今後さらなる活躍が期待されるアニメーションの若手人材(監督、プロデューサー、アニメーター)を選出し、国内外の状況を踏まえたアニメ制作や企画・宣伝、リーダースhipなどを学ぶ場を提供します。海外の有力アニメ制作会社でのインターンを実施後、パイロットフィルムを制作し、海外のアニメーション映画祭等で発表の場を設けます。これらを通して、日本のアニメ産業を牽引する人材の育成を図ります。

特設サイト <https://www.global-anime-challenge.com/>



日本マンガ界の新たな才能を世界へ。
Manga International Network Team(MINT)
一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)

海外展開を望むマンガ家や編集者に対し、国内外のアドバイザーや有識者による講義や面談を通して、海外進出の際に実務的に役立つノウハウや広報戦略等を提供します。その後、実際にアニメ・エキスポを始めとする海外のマンガ関連イベントや展示等に参加し、海外の有識者や出版社等とのネットワークingの機会を提供。第一期は北米圏での展開を対象に、国際的な視点をもって活躍できるマンガ家や編集者を育成します。

特設サイト <https://www.mint-mangaproject.com/>



Top Game Creators Academy(TGCA)

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)

2年間のスクール形式で、世界で活躍できる次世代ゲームクリエイターを育成します。育成対象者は、現役で活躍するクリエイターや講師のもと、グローバルな評価を得るための高度な制作ノウハウ、パブリッシングや広報戦略等を学びながら、スキルアップを目指します。また、本プログラムを通じて制作されたゲーム企画を日本・ドイツ・台湾のゲーム見本市等へ出展することで、世界的なビジネスノウハウ等を実践的に習得します。

特設サイト <https://tgca.jp/>



WAN: Art & Tech Creators Global Network

公益財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS)

対象となる海外展開に意欲的な若手メディアアーティストが世界のアートマーケットの中心地・ニューヨークに滞在し、作品発表の場やリサーチ等を行う機会をつくります。現地プログラムとのタイアップや、キュレーター、ギャラリスト、研究機関等とのネットワークingを実践し、直接的なフィードバックを得ることで、海外進出の礎を築く機会を創出します。そのノウハウを広く共有するためのオンライン発信も積極的に行います。

特設サイト <https://www.w-a-n-art.net/>



New Way, New World: Program for Connecting Japanese Animators to the World

公益財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS)

日本の短編アニメーションは、世界でさらなるプレゼンスを得る可能性を秘めています。『企画を作る／脚本を立てる力』『英語でのコミュニケーション力』等が不足していることからキャリアを継続できない作家が多いのが実状です。本プログラムでは海外展開を望む作家やプロデューサーに対し、国内外のキーパーソンとの協働やネットワーキング等を行う機会を提供し、国際的な視野を持って恒常的に活躍できる人材の育成を目指します。

特設サイト <https://new-new.jp/>



Film Frontier(フィルム・フロンティア)

海外渡航プログラム/滞在型企画開発/長編アニメクリエイター支援

公益財団法人ユニジャパン

Film Frontierという傘のもと、若手クリエイター(監督・プロデューサー・脚本家・スタジオ)を育成する3種のプログラムを実施します。①海外渡航プログラム(事務局:ユニジャパン) ②滞在型企画開発(事務局:VIPO) ③長編アニメクリエイター支援(事務局:ユニジャパン) いずれのプログラムも育成対象者の企画に合わせた企画開発や海外展開等を支援。海外映画祭やマーケット等での展開や発表の場を設け、ステップアップを目指します。



FOR CREATORS

現代アート

T3: PHOTO FESTIVAL TOKYO / PHOTO ASIA / NEW TALENT

一般社団法人TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

国際写真祭(展示)とアートフェア(マーケットプレイス)を同時に開催する環境を最大限に活用し、次世代を担う作家・キュレーター・批評家育成のため、以下に取り組みます。①公開審査によって優れた作家を選出し、国内外での発表機会を提供 ②優れた作家の作品をコーディネートし、国内外での展示ができるキュレーターの育成 ③若手批評家による批評や評論等の執筆 これらと並行して、関連カタログの発行や情報発信等を行います。



特設サイト <https://t3photo.tokyo/>

JUMP アーティスト+キュレーター国際協働プログラム

独立行政法人国立美術館

若手アーティスト・キュレーターを海外に派遣し、海外の美術関係者と協働しながらリサーチベースの作品制作と現地美術館での展示を行います。海外展開終了後は国内でも作品展示を実施。また、本プログラムで得たノウハウや成果を広く共有するため、オンラインを中心とした情報発信を行うとともに、育成対象者以外のアーティストやキュレーター、コーディネーター等の人材が国際的なプロジェクト実施の際に参照できる記録集を制作します。



特設サイト <https://jump.ncar.artmuseums.go.jp/>

FOR CREATORS

分野横断の新領域

オペラ『Super Angels』新シリーズ制作及び海外展開に向けた領域横断型人材育成

アタック・トーキョー株式会社

渋谷慶一郎氏作曲『Super Angels』は、テクノロジーと人間の共生未来を示す新コンセプトのオペラです。本プロジェクトでは、新シリーズ制作に伴い共同制作者に国際的な演出家を迎え、制作から海外展開まで役割ごとに育成対象者を設け、新領域での継続的な人材育成を促します。横断的な才能や技量を持つ若手は指導者と共にプロジェクトチームを編成し、創作を行います。



渋谷 京都を拠点に「ゲーム/遊び」を起点としたクリエイションとグローバルネットワークを形成する404 Not Found・art bit連携プロジェクト「ars●bit(アーンソビット)」

一般社団法人渋谷あそび製制作委員会

クリエイターの支援と文化の発信拠点渋谷「404 Not Found」と「ホテル アンテルーム 京都」で気鋭のインディーゲームx現代アートを発信する企画展「art bit」が連携。渋谷と京都の特性を活かし、多方面の人材が協働するイベント・展覧会制作、フェア出展等の支援を通じてゲームを軸に分野横断型のクリエイターが交流・開花する環境を醸成します。また、各種メディアを活用した情報発信にも注力します。

特設サイト <https://www.arsobit.com/>



「Kogei」アーティスト育成グローバル展開プロジェクト

認定NPO法人趣都金澤

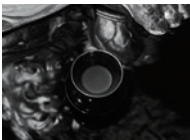
21世紀に相応しい新たな芸術としての「Kogei」の可能性に着目し、工芸とアートの2つの視点からその境界線で活動する作家を育成対象とします。海外の学術研究機関と連携した国際シンポジウムの開催や、海外の主要な国際美術展における特別展示を実施。育成と海外展開、文脈構築を戦略的に行うことで従来のイメージや文脈を刷新し、日本の新たな芸術「Kogei」をコンテンツ市場として創出します。



日本文化輸出プラットフォーム「KAISEKI」

株式会社スクリウム・ラウダア

茶の湯の茶事を現代アートの言語で再構築し、日本文化の衣食住を網羅的にプレゼンテーション可能なプラットフォームとして運用する試みです。本プロジェクトでは、オリエンタリズムを超えた真のグローバルコンテンツとしての日本文化の理解創出、それに関わる作家の起用、グローバルでのキャリア形成に欠かせないコミュニティの運用を循環させることで、日本人クリエイターの育成を実現します。「KAISEKI」とは茶事の懐石であり、グローバル市場の解析であり、未来を創る仲間たちの会席なのです。



文化施設による高付加価値化機能強化支援

文化施設

活動・発信の拠点



クリエイターの活動と発信の拠点として、博物館・美術館は、作品のデジタルアーカイブ化や、発信を推進。そして劇場・音楽堂はクリエイターの育成や公演活動の拠点として、その魅力を国内外に伝える取り組みを展開します。

FOR CULTURAL FACILITIES

博物館・美術館等

大分発アートプラクティス発信事業ー竹ノキュレーション・プロデュース

大分市(大分市美術館)

世界的にみてもユニークな大分の竹文化の価値と魅力と、次代の竹工芸作家の育成を通して国際的に発信していきます。有名アーティストとの連携や海外アートフェアへの参画など、作家と作品の評価を国内外で高めるプロジェクトを多方面に展開。あわせて、美術館コレクションとのコラボや、展覧会の国内外開催による学芸員のキュレーション、プロデュース力の向上を通じ、大分市美術館を国際的なアート拠点として整備していきます。



次世代型学習コンテンツプロデューサー育成プロジェクト

独立行政法人国立科学博物館(国立科学博物館)

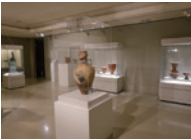
国立科学博物館が持つ、展示や学習支援事業のノウハウ、そして、映像コンテンツ制作会社のイノベティブ映像開発ユニットが持つ、映像制作や教育番組制作のノウハウ。これらを統合し、博物館標本を実空間、仮想空間、マスメディアなどの特性に応じて効果的に活用できる「次世代型学習コンテンツプロデューサー」を育成し、アジアの博物館における科学教育振興のセンターとなることを目指します。



Global Exhibition Team (GET) による日本文化発信プロジェクト

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館(東京国立博物館)

Global Exhibition Team (GET)を立ち上げ、世界で活躍できるキュレーターなどの若手人材育成を行いながら、海外ミュージアムとのネットワークを構築し、日本文化の研究とその魅力を発信する国際拠点としての地位を確立します。育成対象者には海外における日本文化のファン獲得や現地専門家の育成を意識させるとともに、「展示メソッド開発事業」などによる拠点形成を進め、日本の美術工芸を対象とした国内外での展覧会を通じて目標達成を図ります。



グローバル・アート・プロフェッショナル育成プロジェクト

森ビル株式会社(森美術館)

本事業は、世界のトリエンナーレやビエンナーレなどの国際芸術祭で芸術監督やプロデューサーに就任する水準の人材に成長させることを目指し、国内の中堅・若手キュレーターを育成するとともに、その活動拠点となる美術館の機能強化を図るものです。「建築家 藤本壮介の海外巡回展」、「中堅・若手キュレーターを対象とした人材育成プログラム」の2つのプロジェクトによって目標実現を目指します。



FOR CULTURAL FACILITIES

劇場・音楽堂等

Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～

公益財団法人愛知県文化振興事業団(愛知県芸術劇場)

言語を主としないグローバルな発信に適した「ダンス」事業に30年以上上注力してきた愛知県芸術劇場が、「劇場ダンスアーティスト」と位置付けた、年齢やキャリア、創作タイプが異なる4組の舞踊家とともに作品を製作し、国内外で上演します。制作者・舞台技術者も参画し、ネットワークの構築や、海外プロモーション活動を行うことで、国内ダンス界のハブ劇場の機能を強化し、国際的なプレゼンス向上に寄与します。



無隣館インターナショナル

一般社団法人江原河畔劇場(江原河畔劇場)

青年団が東京で拠点としてきたこまばアゴラ劇場(2024年閉館)は、無隣館という演劇人の育成機関を設け、国内外で活躍する人材を輩出してきました。本プロジェクトではその実務経験を生かして、選抜した育成支援対象者が総合芸術である演劇表現の基礎講座や国内外の現場経験を積み、日本の舞台制作の支柱となることで、江原河畔劇場が国内外で更に活躍できる人材育成と創造活動の拠点となることを目指します。



ストリートシアター グローバル人材育成プロジェクト “STRANGE Lab.”

公益財団法人静岡県舞台芸術センター(SPAC-静岡県舞台芸術センター)

今後の創客が期待できる分野である「ストリートシアター」のクリエイションにおける国際的な人材育成機関として、SPACの機能を強化します。育成支援対象である4組の若手アーティストが創作した作品を、SPACが拠点とする静岡市で毎年開催され、世界からも注目される「ストレンジシアード静岡」で発表します。これにより、国際的な舞台芸術の市場に躍り出るサポートを行うだけでなく、静岡の文化的な土壌の豊かさを示していきます。

特設サイト https://spac.or.jp/project/cultivation/strange_lab



劇場による総合的な人材育成・国際発信プロジェクト

公益財団法人せたがや文化財団

(世田谷文化生活情報センター(世田谷パブリックシアター))

気鋭のアーティストや劇場若手スタッフを育成対象者に、芸術監督である白井晃氏をはじめ、国内外での演劇制作やネットワークに豊富な経験を持つ劇場スタッフが指導者となり、OJTや演劇作品の創作と国内外での発表を共同で実施します。欧州、アジア圏のさまざまな場で活躍する劇作家や劇場との国際共同制作から作品開発の手法を学び、その成果を国内外公演で発信し、国際的な演劇ネットワークにおける関係性の構築・連携強化を行います。



TMTギア ー東京芸術劇場クリエイター支援プロジェクト

公益財団法人東京都歴史文化財団(東京芸術劇場)

令和8年度から芸術監督に就任する岡田利規氏、山田和樹氏と、国際経験豊かな劇場幹部職員のネットワークを生かし、日本の舞台芸術の魅力をグローバルに発信するクリエイターや劇場スタッフの人材育成に取り組みます。OJTや海外研修、作品制作のサポートを行うほか、舞台映像のプロモーションやアーカイブ構築などに取り組み協働チームを育成し、国内外への発信力を強化します。



音楽クリエイター育成プロジェクトTokyo&Paris to the NEXT

公益財団法人東京都歴史文化財団(東京文化会館)

現代音楽界において世界最高峰の環境を持つパリのIRCAM(イルカム フランス国立音響音楽研究所)と共同で、3名の日本人若手作曲家に作品委嘱を行う育成事業を立ち上げます。専門的な知識・技術を持つIRCAMのエンジニアとのクリエイションを経て、日仏で作品発表を行う工程に、東京文化会館の制作・広報スタッフも伴走し、スタッフのスキルアップや国際交流にもつなげます。本事業を通じ、日本の電子音楽及び現代音楽分野の発展に寄与します。



Step into the world from Matsumoto

一般財団法人松本市芸術文化振興財団(まつもと市民芸術館)

育成対象者である3名のダンサーと1名の制作者が、断続的に松本市内に滞在し、まつもと市民芸術館舞踊部門芸術監督の倉田翠氏とともに、松本市の自然環境・郷土芸能・人から受けた刺激を生かした新しい作品を創出します。劇場のコンセプト「ひらいていく劇場」の理念に即し、地域にも開かれた活動を展開していくほか、地方都市からダイレクトに独自の芸術文化を世界へ発信し、グローバルに活躍する人材育成を行っていきます。

特設サイト <https://www.step-matsumoto.com/>



子ども×テクノロジー作品の制作を通じた人材育成プロジェクト

公益財団法人山口市文化振興財団(山口情報芸術センター[YCAM])

YCAMは2003年の開館以来、地域と連携してメディアアートや舞台芸術作品を制作・上演し、アートやテクノロジーの応用可能性を広げてきました。本事業では、YCAMの国際的な創造環境・発信拠点としての機能を高めるべく、国内外で活躍するダンサー・振子びじん氏やSF作家・斧田小夜氏、若手クリエイター、エンジニアとともに児童を対象にした作品を制作し、未来を担う子どもたちとAIテクノロジーとの創造的な関係性を構築することを目指します。



ロームシアター京都 レパトリーの創造 ホープス(京都・関西を拠点とする若手演出家育成事業)

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(京都会館(ロームシアター京都))

ロームシアター京都と若手バフォーミングアーティストやクリエイターが、ともに京都から世界へ才能を発信するプロジェクトを実施します。当劇場がハブとなって、京都からダイレクトに世界を舞台に活躍するためのサポートモデルを確立することを目的として、選出した2名の演出家(野村真人氏・西田悠哉氏)による新作及び旧作のクリエイションを経て、2名がそれぞれ新旧2作品の計4作品を発表し、国内外にむけて発信します。

特設サイト <https://rohmtheatrekkyoto.jp/reperitory/rohmtheatrekkyotoreperitoryhorps/>

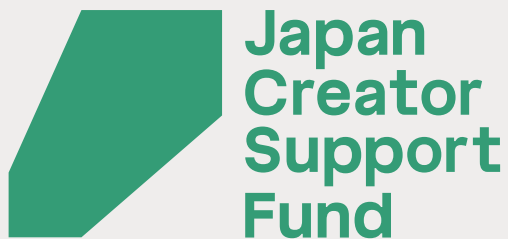


Photo Credit

- アタック・トーキョー株式会社 / ©Keiichiro Shibuya MIRROR Ghost at the Grand Palais, Paris.(1.14/03/2025) / Photo by Astrid Stees, Dimitri Lancuit
- 株式会社KAJIMOTO / ©Scottish Opera
- 公益財団法人東京二期会・東京二期会オペラ[コジ・ファントゥッテ] カテン・コールより、指揮:クレリア・カフェーロ、演出・衣裳:ロラン・ペリ、ドン・アルフォンソ:ロラン・ナウ / 2024年11月10日やまざん 県民ホール
- 株式会社ワゴン / VOCALOID (ボーカロイド)「ならびに[ボカロ]」はヤマハ株式会社の登録商標です。
- 公益財団法人新国立劇場運営財団 / Ayako Ono as Giselle and Kosuke Okumura as Albrecht in Giselle / Photo by Takashi Shikama
- 公益財団法人日本舞台芸術振興会 / ©Shoko Matsushashi
- 一般社団法人KYOTO EXPERIMENT / ©小池アイ子
- 株式会社サイ / Photo by Hiroshi Koike
- 公益財団法人文楽協会 / ©国立劇場
- 公益財団法人全国公立文化施設協会 / ©INARIS2024研修の様子
- 認定NPO法人趣都金澤 / 牟田陽日(澤々)と(2021) / 展示風景: GO FOR KOGEI 2021 (大瀧神社・岡太神社・福井県) / Photo: Katano Masahiro
- 独立行政法人国立科学博物館 / 画像提供: 国立科学博物館
- 独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館 / 特別展「日本の原点」(於:ギリシャ・イラクリオン考古博物館, 2023年)
- 森ビル株式会社 / [2025年大阪・関西万博 大屋根リング]模型(展示風景予想図) / ©Sou Fujimoto Architects
- 公益財団法人愛知県文化振興事業団 / ©HATORI Naoshi
- 公益財団法人せたがや文化財団 / 撮影: 細野晋司
- 公益財団法人山口市文化振興財団 [YCAM] / 写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]
- 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 / 野村真人 撮影: shimizu kana / 西田悠哉 撮影: 宇治田峻

シンボルマークについて

ロゴのデザインは平面をもとに、日本のクリエイター・アーティスト、文化芸術が国境を越え、世界に飛び出す姿をイメージしています。平面はあらゆる方向に無限に広がる力を連想させます。日本を起点にした、新しい創造の拡がりにご期待ください。



令和7年度からの取り組み

文化芸術活動基盤強化基金

クリエイター等支援事業(育成プログラム構築・実践)

文化庁

各コンテンツ分野において、クリエイター等の国内外での活躍を促進するため、大学・専門学校等と企業・関係団体等業界が連携し、国際的な活躍を目指す学生や社会人に必要となるスキル等を習得する国際的な場での実践を含めた育成プログラムの構築・実践を弾力的かつ複数年度にわたって支援します。



令和7年度
事業概要

クリエイター・事業者海外展開促進事業(長期制作支援)

経済産業省

我が国のコンテンツ産業の海外展開を促進するべく、①事業者がグローバル市場に展開できる高品質な映像作品の制作 ②そうした映像制作に向けた、多様な資金調達やパートナー獲得、クオリティの高い企画・脚本等の開発、コンテンツIPの権利処理等の取り組みについて、複数年度にわたって支援を行います。



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

独立行政法人 日本芸術文化振興会

文化芸術活動基盤強化基金担当

